

科目番号	51	科目名	社会人類学	
英文科目名	Social Anthropology			
大学・短期大学名	龍谷		大学	
連絡先	滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5			
	TEL :	077-543-7739	FAX :	077-543-7674
担当教員	青木 恵理子 ( 社会 学部 教授 )			
教室名		会場		
授業期間	2021年4月7日(水)～2021年7月21日(水) ＜毎週水曜日＞ 2 時限・講時 11 : 00 ～ 12 : 30			
超過時の選考方法	書類選考			
成績評価方法	定期試験(筆記)	40%		
	レポート試験(期末)	20%		
	平常点(出席・授業態度)	10%		
	その他(小テスト)	30%		
別途負担費用	(なし)		あり( )円	
その他特記事項	<p>2021年度はオンライン授業にて実施します。</p> <p>【授業時間外における予・復習等の指示】 復習を必ずしてくる。適宜課外の課題を出すのでがんばってください。</p> <p>【履修上の注意・担当者からの一言】 授業はライブです。皆さんの疑問に思っていること感じていることをぶつけてください。 シラバスはあくまでも目安です。皆さんとのやりとりのなかでダイナミックな授業が実現できることを楽しみにしています。分からないことがあったら、いつでも質問してください。</p> <p>【オフィスアワー・教員との連絡方法】 オフィスアワー：水曜お昼休み 連絡方法：email aoki@soc.ryukoku.ac.jp</p>			
<p>＜講義概要・到達目標＞</p> <p>【講義概要】 異なる文化を生きる人々はどうのようくらしているかということ想像しながら、さまざまな社会や文化のあり方を、人の一生の流れに従って、理解していく。その過程で、同時に二つのことも学修していく。 ①自分の属している、社会的・文化的環境がどのようなものかを理解する。 ②社会人類学のものの見方を学修する。 授業の、終盤では、理論的な理解を深めて、私たちの暮らしている地球上の暮らしを照らし出し、考察をする。</p> <p>【到達目標】 異なる文化や社会での振る舞い方や考え方を理解することにより、目からうろこが落ちる経験をして、文化や社会によって自分の振る舞いや考え方や経験がどのように作られているかを理解する。身近な出来事を、社会人類学の考え方で考察することができる。 全く異なった振る舞い方や考え方を理解するための、想像力を身に着ける。 論理的考えかたを身に着ける。 知的生産の基本技術(たとえば、聞いたことを適切にノートする)を身に着ける。</p> <p>【講義方法】 講義中心。ビデオ、その他映像資料、音響資料を使う予定。アンケート、小テスト、レポートなどを授業に織り交ぜる。聞きながら、理解し、まとめ、ノートを取ることができるよう講義を行う。アンケート、小テスト、レポートで、受講者の理解を丁寧に確かめながら授業をすすめる。</p>				

<授業スケジュール>

回	月日	テーマ・キーワード
1	4月7日	人類学・社会人類学・文化人類学〈直感的理解〉—文化
2	4月14日	文化と言語はどのように似ているか?—文化、言語、弁別性
3	4月21日	フィールドワーク、どんな研究方法?
4	4月28日	〈文化/社会〉人類学固有の方法
5	5月12日	フローレス島で「生まれる」
6	5月19日	誕生・出産の文化的多様性 現代日本における出産
7	5月26日	生命と社会 生の変容
8	6月2日	子どもの誕生—「子どもの誕生」近代家族
9	6月9日	大人になる
10	6月16日	ジェンダー・セクシュアリティ
11	6月23日	働くことと 生きること
12	6月30日	病気・不運
13	7月7日	死
14	7月14日	まとめ 質問に答えて
15	7月21日	特別講義:インドネシアの芸能と文化

<教科書・参考書>

【参考文献】

波平恵美子編『文化人類学』（医学書院）2,100円（ISBN:9784260013178）  
 米山・谷 編『文化人類学を学ぶ人のために』（世界思想社）1,886円（ISBN:4790703886）  
 田中・中谷 編『ジェンダーで学ぶ文化人類学』（世界思想社）1,995円（ISBN:4790710963）  
 必要に応じその都度示す。